

郷土文化学習交流施設基本計画

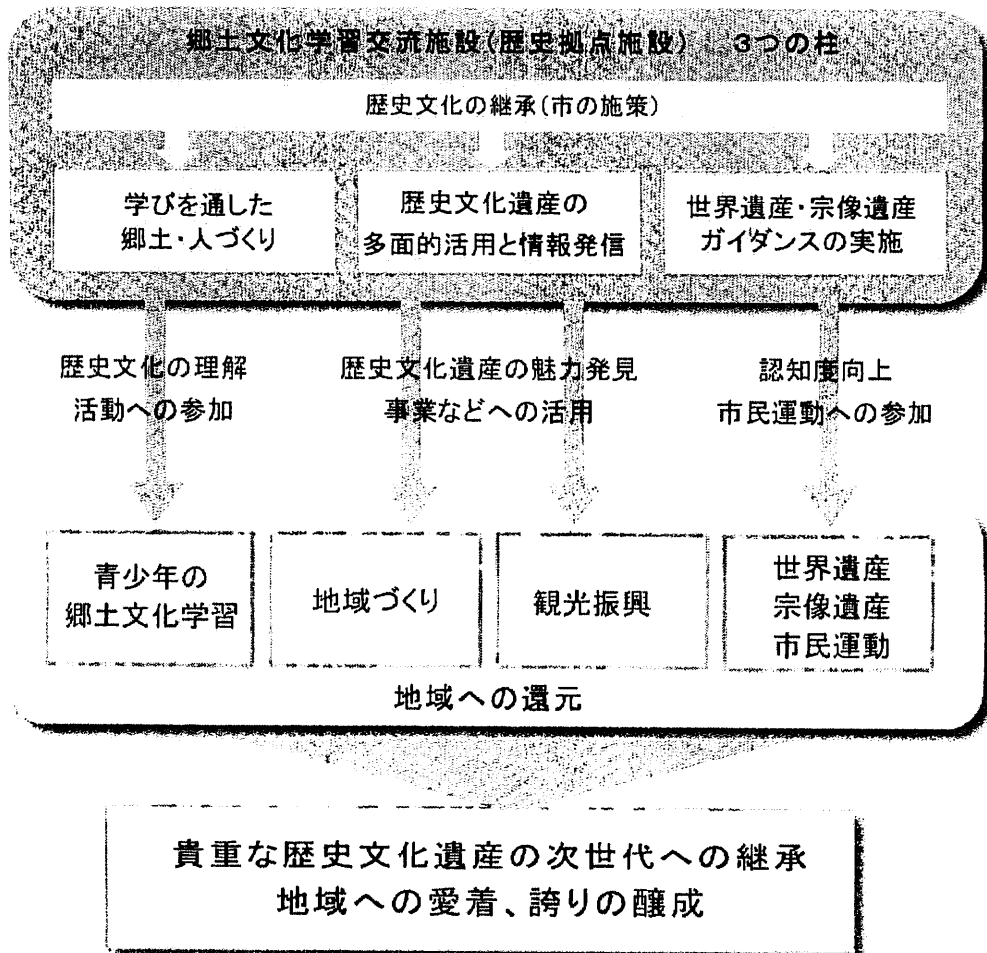
第1章 郷土文化学習交流施設（歴史拠点施設）の理念

1. 『歴史文化の継承』のための中核施設

宗像市は、宗像大社、沖ノ島をはじめ、豊かな自然とそのなかで育まれた多彩な歴史文化遺産を有しています。郷土文化学習交流施設（歴史拠点施設）※以下当施設は、市域全体に点在するこれらの自然や遺産を結び、宗像地域の歴史文化の魅力を抑り起こし、さまざまな活動を展開する、『歴史文化の継承』のための中核施設です。

2. 市民と協働し、連携する地域還元型の施設

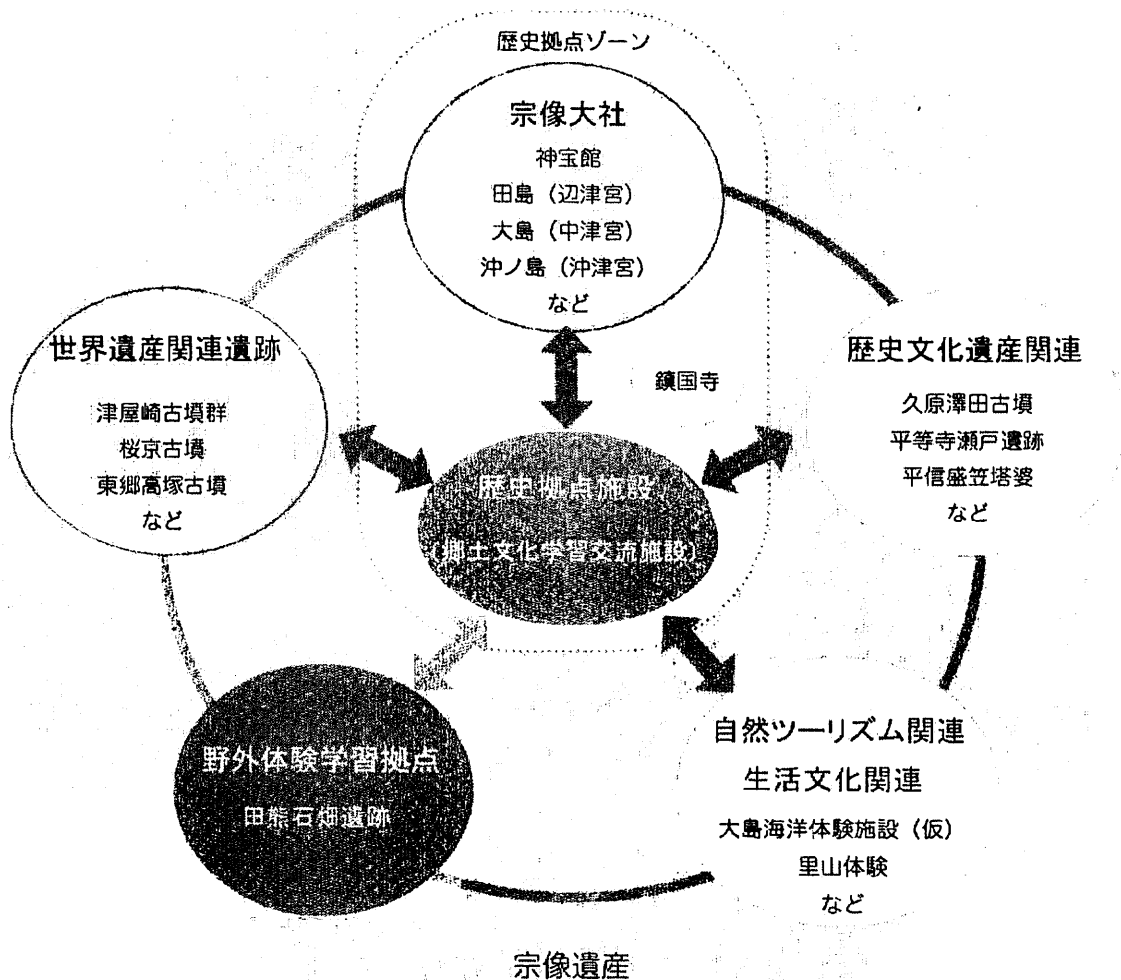
当施設は、『学びを通じた郷土・人づくり』『歴史文化遺産の多面的活用と情報発信』『世界遺産・宗像遺産ガイドンスの実施』の3つの柱を基盤とし、市民と協働し、団体や事業者とも連携した活動を展開し、その成果を地域の暮らしや事業に活かす地域還元型の施設を目指します。



【図6 市民協働・連携による地域還元型施設】

3. 市域の自然や歴史文化を結ぶコア施設

当施設の立地する宗像大社とその周辺は、歴史文化の継承を推進する中心的な地域です。歴史拠点施設は、宗像大社周辺および宗像市内全域に点在する自然や歴史文化遺産（宗像遺産）を結ぶコア施設として整備し、宗像市全体を1つの博物館としてとらえ活用することにより、宗像の自然や歴史文化の魅力を引き出すことを目指します。



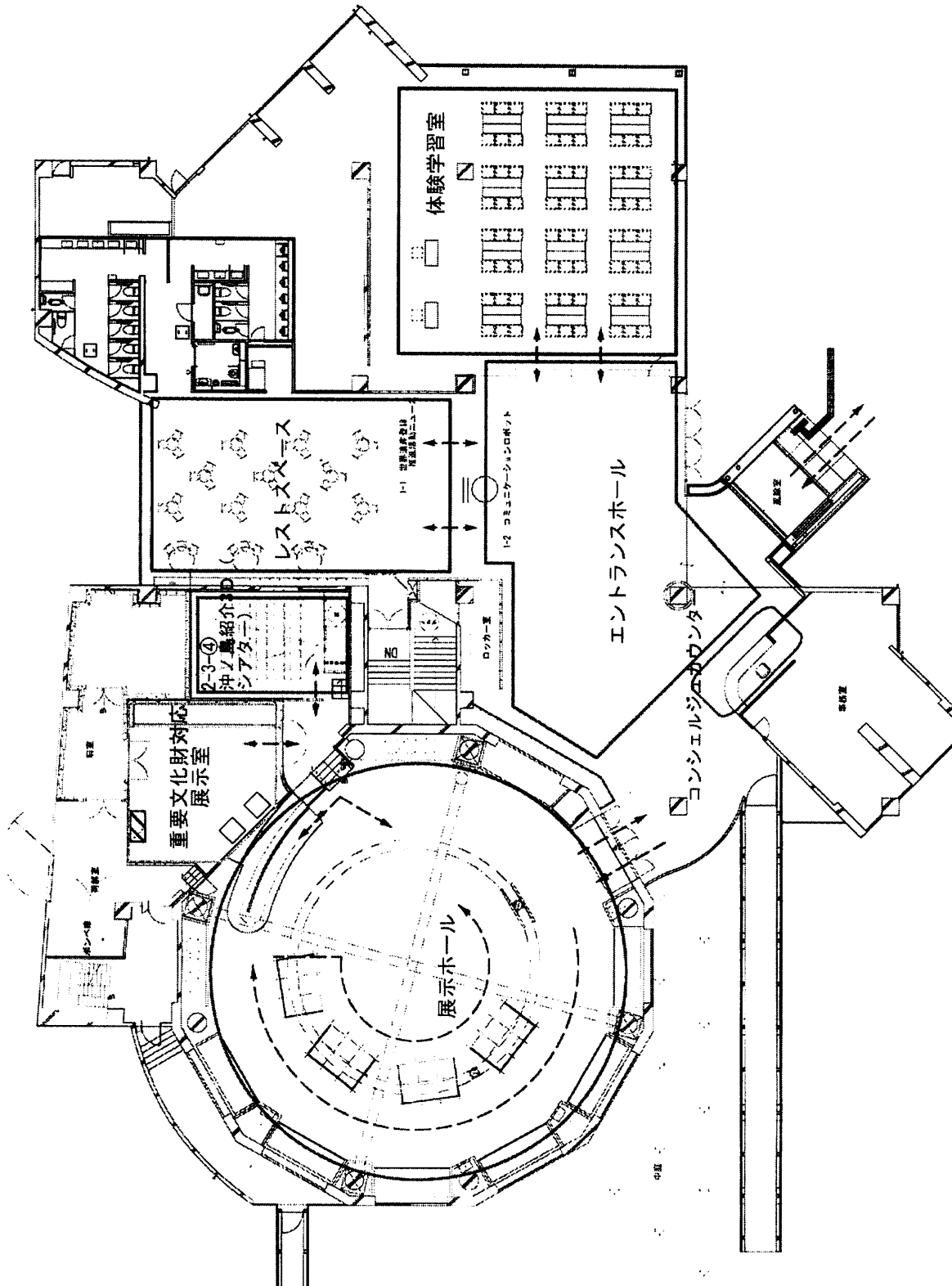
歴史拠点施設をコアとし、相互に連携活用

宗像遺産

宗像の自然や歴史文化などの地域資源を多様な視点から掘り起こし、その意義や魅力を宗像地域の「遺産」として伝え、また活用するものの総称

○ 宗像遺産のなかでも世界遺産に関するもの

【図7 自然や歴史文化遺産を結ぶコア施設のイメージ】



宗像市郷土文化学習交流施設整備工事（展示工事）

平成 年度 起工第 号
宗像市

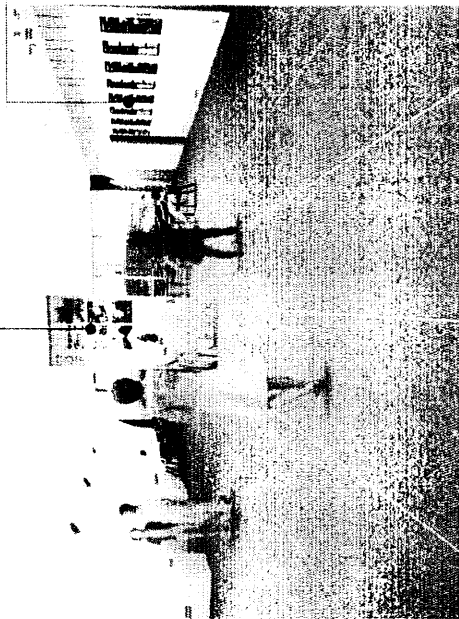
Tanseisha

1F エントランスホール・展示ホール
2F 体験学習室
3F 重要文化財対応展示室

2011.03.09
1/200

NO. 018

1-2 コミュニケーションロボット

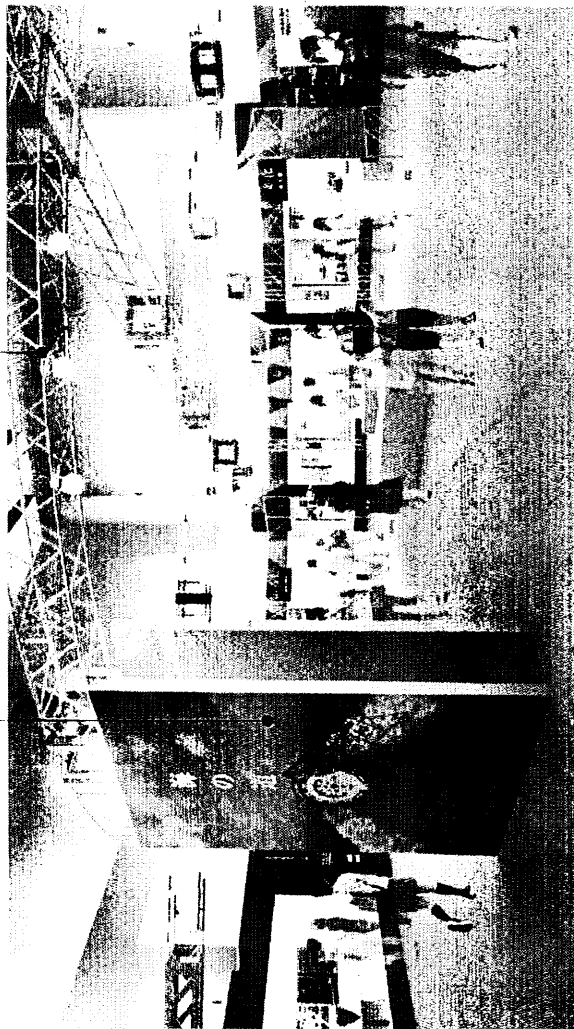


1-1 世界遺産登録推進活動ニュース

テーマ展示サイン

トラス

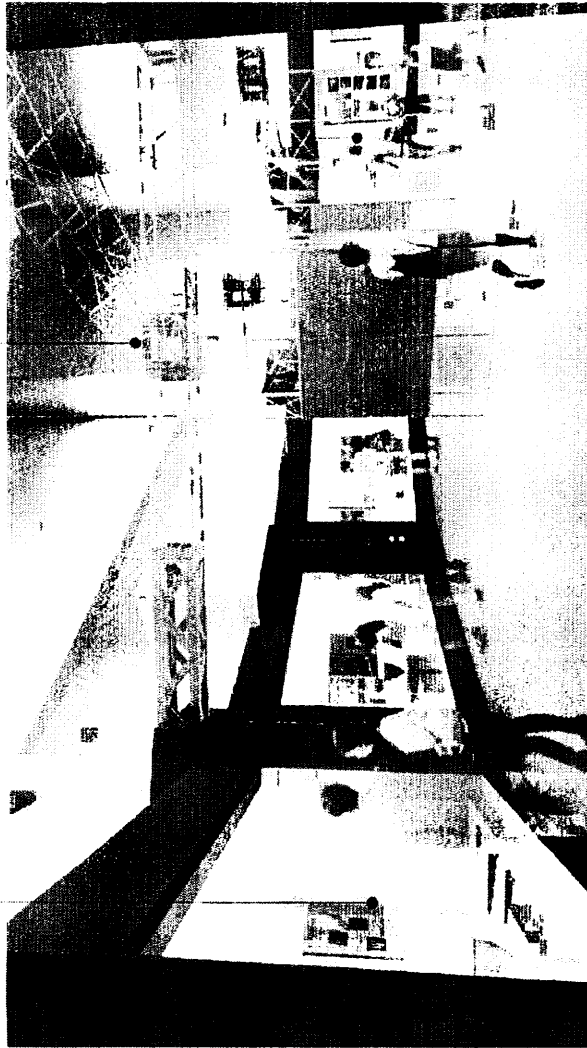
■ エントランスホール



■ 展示ホール

ウォールケース

トラス



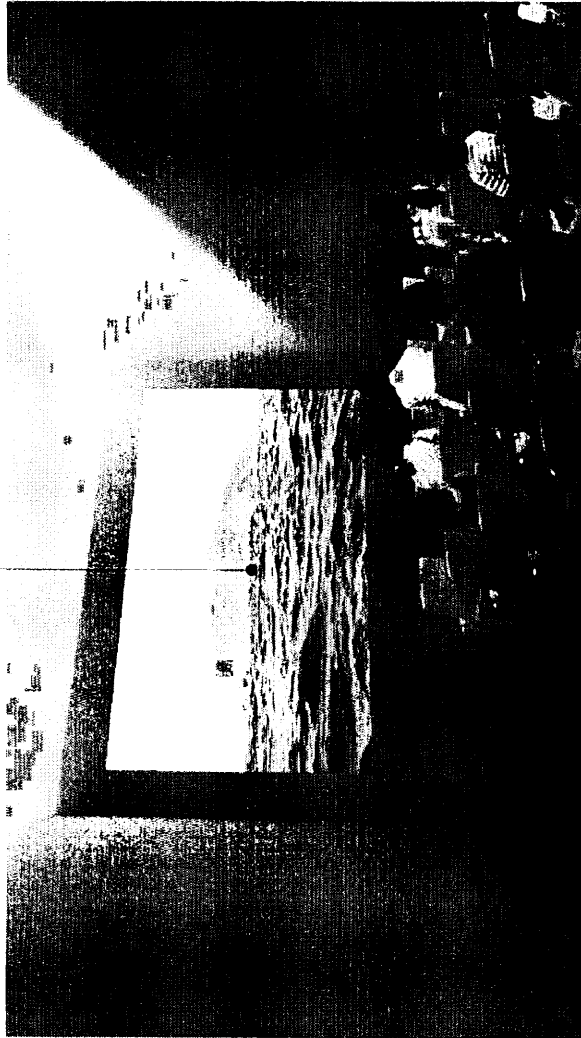
2-2 宗像遺産ポケット展示

2-3-③沖ノ島祭祀遺跡3D復元

■ 展示ホール
 (2-1 宗像の歴史)
 (2-2 ポケット展示)

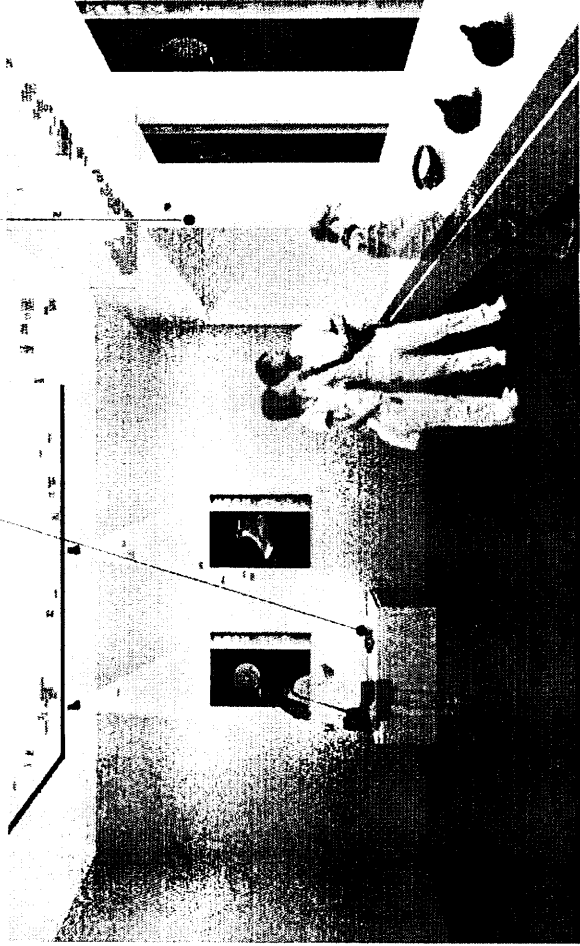


■ 展示ホール (2-3 世界遺産「宗像・沖ノ島と関連遺産群」)



視覚型ケース

壁面ケース



■ シアター (2-3-④沖ノ島紹介3D)

■ 2-4 重要文化財対応展示室